

第25回中小企業優秀新技術・新製品賞

受賞5社トップ座談会



井水 皆さま、このたびは受賞おめでとうございます。まず自社の特徴や強み、今回受賞された技術、製品についてご説明していただきたいです。最初に中小企業長官賞の石井さんからお願ひいたします。

石井 当社は1959年に創業以来、アルミニウム解コントンサーサー用のリード線端子を手がけています。新しい事業として2001年から光通信用のシリコニアフレールを発売しました。その関係で新たに石英の精密加工に挑戦しました。今回、新しい開発のポイントは、石英素材の純度を極めて高いレベルまで引き上げながら微細成形技術の確立を果たせたことです。温度特性や化学的な安定性を最高に保ちながら、精密に作ることができます。

井水 これからいろいろな市場が生まれそうですね。続きまして水島さん、お願いいたします。

水島 当社は2009年2月に2人で創業しました。触覚センサーは薄膜センサーヘッドは薄膜

電極を形成したボリューチャンテレフターレット(PET)フィルム基板と、電極を形成したボリューチャンテレフターレット(PET)フィルムにアルミニウム蒸着したタイプで、同じ二つアターデミーを防ぐ目的で導電ゴムを取り合せた構造です。そこでコンデンサーができあがるので、導電ゴム側を加工することで、少し空洞ができることがあります。その空洞を上から押したりすると、距離や接触面積が変わり、さらにはコンデンサーの容量が変わることもできます。検出方法も抵抗型ではなく、P.E.T.フィルムと導電ゴムをすることで、柔らかくて曲面にも張り付けることができます。検出方法も抵抗型ではなく、コンデンサー型にして、静電容量変化型センサーの開発を考えました。

井水 非常にリーズナブルな開発を考えていましたが、非常にリーズナブルな開発を考えていました。

水島 昌徳氏 医師の提案受け機器製販 德永氏

水島 当社は2009年2月に2人で創業しました。触覚センサーは薄膜センサーヘッドは薄膜

電極を形成したボリューチャンテレフターレット(PET)フィルム基板と、電極を形成したボリューチャンテレフターレット(PET)フィルムにアルミニウム蒸着したタイプで、同じ二つアターデミーを防ぐ目的で導電ゴムを取り合せた構造です。そこでコンデンサーができあがるので、導電ゴム側を加工することで、少し空洞ができることがあります。その空洞を上から押したりすると、距離や接触面積が変わり、さらにはコンデンサーの容量が変わることもできます。検出方法も抵抗型ではなく、コンデンサー型にして、静電容量変化型センサーの開発を考えました。

井水 非常にリーズナブルな開発を考えていましたが、非常にリーズナブルな開発を考えていました。

水島 昌徳氏 医療機器のためリスク医師が非常に熱心で提案してくれました。医師が非常に熱心で提案してくれました。

井水 人そのため、世のためという徳永社長の思

りそな中小企業振興財團と日刊工業新聞社共催の「第25回中小企業優秀新技術・新製品賞」授賞式が4月8日、東京・飯田橋のホテル・グランドパレスで行われた。同賞は中小企業の技術振興を図り、日本の産業発展に寄与することを目的に1988年に創設された。今回は部門、ソフトウェア部門の合計で420件の応募があり、厳しい審査の結果、39件が入賞した。受賞企業5社のトップに自社の強みと今回受賞された技術、製品の特徴、今後の事業展開経営理念について語ってもらった。開業理念について語ってもらった。

井水 皆さま、このたびは超高純度であることは、超高純度であることは重要なポイントです。

石井 純度が高ければ紫外領域から赤外線まで非常に高い透過率を達成できるな

ど高いボテンシャルを発揮させることができます。

井水 99.999%レベルまで純度を高めるプロセスの開発に成功しました。1p

石井 99.999%レベルまで純度を高めるプロセスの開発に成功しました。1p

井水 99.999%レベルまで純度を高めるプロセスの開発に成功しました。1p

石井 99.999%レベルまで純度を高めるプロセスの開発に成功しました。1p